

編集後記

令和元年度は、台風第 19 号や新型コロナウイルス等、甚大な被害が頻発しました。台風第 19 号では、濡れた衣服が問題となりました。ずぶ濡れで避難所に到着したホームレスの方が入所拒否され、濡れた衣類を着たまま、ビニール傘 1 本で雨を凌いだという記事を読みました。濡れた被服が命を脅かす危険性があることを、避難所を運営する側が理解していたら、この事態は避けられたのではないかと非常に胸が痛みました。現在も緊迫した状況が世界各国で続いている、新型コロナウイルスでは、マスクや防護服の生産が追いつかない状況が伝えられています。

災害やウイルスに限らず、甚大な被害が発生した際に、被服はヒトの命を守る重要な役割を担うことを痛感します。被服衛生学の知見や研究成果を社会に伝えることは、益々重要になってきていると考えます。本号の原著論文も災害時に役立つ蓄光繊維に着目した報告となっており、被災現場での活用が期待されます。

最後になりましたが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた皆様に編集委員一同、深く感謝申し上げます。今後とも部会誌の発展にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

(令和 2 年 2 月 水野一枝)

被服衛生学 第39号

2020年(令和2年)3月4日発行

発行者 (社)日本家政学会被服衛生学部会

URL:<http://hifukueisei.jp/>

代表 平林由果

事務局 (庶務:眞鍋郁代)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

愛媛大学

事務局 (会計:小野寺美和)

〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町6-2-23

甲南女子大学

印刷所 高橋印刷株式会社

〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町1番45号

tel: 022-288-6611